

# 第1回モノづくりコンテスト入選作品発表！

## 奇抜なアイデアをあえて採用

### 奇想天外な発想にこそモノづくりの種が



①②の部で入選の方々。賞状を読む加藤会長。  
③の部で入選の方々。



◎この道に名がつけました。

## 東雲ふんばり街道

発明王・佐吉翁のモノづくりの精神を少しでもこの地に残したいと、佐吉記念碑保存会（加藤文雄会長は、「モノづくりコンテスト」を今年から実施。その入選作の発表と表彰式が8月18日、半田市乙川公民館大ホールで行われた。  
注目の阿久比川沿いの道は「東雲ふんばり街道」に決定。また、この道の活用アイデアは奇抜なものが入選した。

### 1部門は審査が難航

半田市の阿久比川と十ヶ川に挟まる堤防の道【写真上】に愛称名をつける「1の部」は、250件を超える応募。

審査会の激論の中、内田真樹子さんの「もつひとふんばり街道」が、「元気を出すぞ」という気持ちに溢れてよい、という意見が大勢を占めたが、「場所の特定も大切」との意見も採り入れ、「東雲」しののめも採用、「東雲ふんばり街道」に決定した。  
呈賞は、「ふんばり」の内田

さんをメインに採用。作品に「東雲・しののめ」を入れていた9人を準入選とし、副賞の10万円は比例配分した。なお、山本博信さんは半田市議の立場から賞金は辞退された。

1部門の入選は次の方々。

- ◎内田真樹子（半田市）
- 次は「東雲・しののめ」がついた作品を提案した方々。
- ◎城平 紀子（半田市）
- ◎立川 剛資（半田市）
- ◎小栗 幸子（武豊町）
- ◎永田 達彦（半田市）
- ◎新美 吉正（半田市）
- ◎蛭川美登里（半田市）
- ◎杉浦 文昭（半田市）
- ◎内田 哲也（半田市）
- ◎山本 博信（半田市）

### 【順不同、敬称略】

なお、愛称「東雲ふんばり街道」を広く知っていただくため、半田商工会議所のご協力を得て、現地にプレートなどを設置する予定。

### 2部門は発想力を評価

「道の活用法のアイデア」を求める2部門は、奇抜なアイデアをあえて採用した。

その点を審査委員を代表して神谷義尚氏は、

「豊田佐吉翁の卓越した発

明力は、常識に捉われない柔軟な発想があったからこそ。当コンテストは、実現性の有無は一切考えず、豊かで、意外で、奇想天外ともいえるアイデアを優先して採用した。

さらに、「実現的な発明や、ハイテク・ハイタッチの工夫はプロの技術者に任せばいい。私たちは、あえてプロの技術者が考えつかない素人的発想、夢のような発想を大事にしたい。」  
神谷氏のこの言葉が2部門の審査内容のすべてである。入選は大きく分けて4つ。

### (1)ハイテク風のアイデア

人が通ると、センサーが反応、川には織機のシャトル状の舟が動き出し、道端に、動力織機の模型が動く。

- ◎アイシン・エンジニアリング AIG『HUB』グループの11名。代表・坂信太郎（刈谷市）

### (2)ハイハイ通行のアイデア

「畳をしいてハイハイ通行」赤ちゃんも子供も大人もこの道はハイハイ通行を原則とする。日本でここだけのユニークな道になる。

- ◎山形 佳恵（半田市）

(3)足つぽ刺激の健康の道  
丸石等を利用して足の裏を刺激する裸足の道。丸太や健康器具を随所に置く。

- ◎堀之内彩香（浜松市）
- ◎小高宗一郎（名古屋屋市）
- ◎加藤 康弘（半田市）

### (4)発電のアイデア

道路に太陽光パネル。川風では風力発電。電気は動く鯉のぼり、夜桜のライトアップ、ネオンサインに。普段は売電。同類の発想が2人。

- ◎盛田 元之（常滑市）
- ◎山本 俊晴（半田市）

以上、4アイデアに7名が入選。賞金は案分した。

### 【順不同、敬称略】

第1回モノづくりコンテストはこの様に終了した。

なお、同類の発想の多いもの、例えば「佐吉の発明の道」や「半田の歴史の展示」、「ジョギング」、「南吉」などは、良い作品も多かったが、目新しさに欠けるといっぺんから、全て落選とした。ご了承願いたい。

コンテストは来年度も実施する。【佐吉記念碑保存会】